

発行日:平成21年11月1日

# ようざん通信

「ショートステイようざん」よろしくおねがいします。



このたび11月1日より“ショートステイようざん”がオープンすることとなりました。これも多くの方々のご協力のおかげだと心より感謝しております。全個室(20室)によりご利用者のプライバシーが守られ、個人の生活の空間が確保され、ご自宅にいるようなリラックスした感覚で過ごすことのできるユニットケアにてご支援させていただきます。

ショートステイようざんの特徴として

●楽しく安心なショートステイ

利用してみただけが何もしないでつまらないということがないようレクリエーション提供に力を入れていきます。

●認知症の方や医療依存度が高くても対応可能なショートステイ

ようざんでは全職員に日々認知症ケアの研修を行うなど認知症ケアに特化し、認知症の方が安心してご利用できるショートステイを目指します。また、看護師体制を厚くし、医療依存度の高い方への対応も強化します。

●午前7:00から午後8:00までの送迎を365日間対応可能なショートステイ

ご利用者様やご家族のご希望に合わせて、午前7:00から午後8:00までの送迎に年中無休で対応します。

●緊急短期入所ネットワークの取り組みをするショートステイ

緊急に入所を希望された場合に、お部屋の空きがなくても他のショートステイ事業所と連携をして、いずれかの受け入れ可能なショートステイ事業所をご紹介します。

ショートステイようざんは多くの方々に支えられ存在しています。そのことを皆様から感謝し、その感謝の気持ちを良質なサービスの質としてご提供させて頂き少しでもお役に立てればと思います。ご意見、その他ご要望など様々なニーズにお応えできるよう一生懸命努めさせて頂き、皆様のご来所スタッフ一同心よりお待ちしております。

ショートステイようざん 管理者 石原賢

ショートステイ  
ようざん

群馬県高崎市栗崎町141-1  
電話 027(386)8643



## 第7回小規模多機能・グループホーム大会で事例発表しました



群馬県地域密着型サービス連絡協議会主催の第7回小規模多機能・グループホーム大会に参加しました。午前中は若年性認知症ケアについてのフォーラムがあり、午後は群馬県内の小規模多機能型居宅介護事業所とグループホームの事例発表会がありました。発表された39の事例はど

れも興味深く、認知症ケアへの真摯な取り組みに大変感動しました。ようざんでは小規模多機能型居宅介護の4事業所が事例報告しました。今後このような研修や事例発表会へ積極的に参加しケアの質を高めていきたいと考えています。当日の様子は、ホームページに掲載しておりますの見ていただければ職員の励みになります。



## 「ケアサポートセンターようざん双葉」が2月にオープンします

2月1日に高崎市双葉町にケアサポートセンターようざん双葉をオープンします。小規模多機能型居宅介護事業所と認知症対応型通所介護事業所の複合型施設になる予定です。住み慣れた地域で住み慣れた家から離れないで、ご自宅での生活を続けられるよう24時間365日サポートしていきます。小さい規模の事業所ですので、大人数でのデイサービスが苦手な方にも安心してご利用いただけます。特に小規模多機能型居宅介護事業所は25人限定の登録制の事業所ですので、お問い合わせはお早めをお願いいたします。



**24** ケアサポートセンター  
**ようざん双葉**  
〒370-0843  
群馬県高崎市双葉町22-9



お問い合わせ先 027-362-0300 担当 堀江

認知症対応型通所介護

## スーパーデイようざん

日増しに寒さも増してきました。スーパーデイようざんでは、利用者様と一緒にカレー作りを行いました。野菜の皮むきから皆で「この野菜の名前は何か?」「きれいに剥けたね」「ここはまだ残ってるよ」など賑やかです。材料を見ただけで何ができるのか、すぐにわかるようで「楽しみでしょうがない」といった表情で作業が進みます。切った野菜の大きさや量、炒めるタイミングなど楽しそうに意見が飛び交っていました。出来上がりは努力の甲斐もあり美味しいカレーが食べられ、皆、満足そうで充実された様子でした。ひと通りの作業を行うこと

が難しくても、切る、混ぜる、持つ、数える、味をみる等に何気なく声をかけながら部分的にでもできる範囲で一緒に参加していただきました。ひとつの仕事をやり終えると「できたよ」と声をかけてくれ「ありがとう上手くできましたね」と返すと本当に嬉しそうな表情をされています。これからもスーパーデイで過ごされる時間の中で、普段、私たちが何気なく行っている生活の一部分の中からその人ができること、やってみたくを少しずつ探して参加していただき、気持ちも表情も明るくいられるよう心掛けて楽しく過ごしていきたいと考えています。(神宮)



小規模多機能型居宅介護施設

## ケアサポートセンターようざん



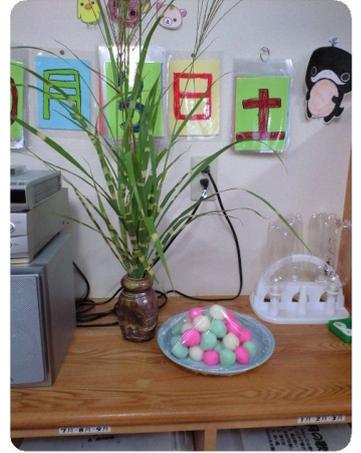
秋色いよいよ濃く、夜長の頃となりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。10月3日は十五夜でした。私達ようざんユニットでは、色とりどりのお団子を用意しフロア

の目立つところにかざりました。10月の初めはお天気が良くなく、雨ばかりが続いていました。「今日の夜はお月様が見えるといいね。」そんな願いも込めて利用者様と一緒に十五夜の歌をうたいました。私達の願いが通じたのでしょうか、その日の夜はきれいなまん丸のお月様が見えました。さて、もうひとつ秋のイベントといえ

ば「梨狩り」です。私達は下里見町にある梨園に行って参りました。

お天気が心配でしたがなんのその。みなさん「あれがいいかな？これがいいかな？」と迷いながらも楽しそうに梨をもいでいらっしやいました。また、梨園でいただいた梨はいつもにまして格別な味わいでした。利用者様と私達にとってまた素敵な思い出がふえました。これからインフルエンザが心配な時期となりました。手洗いうがいを徹底し、利用者様共々、体調管理に気をつけて深まりゆく秋を楽しんで参りたいと思います。

(中川)



小規模多機能型居宅介護施設

## ケアサポートセンターようざん栗崎

秋も深まり、1日の気温差は体にこたえますが、比較的過ごしやすい季節になりました。そんな過ごしやすさを感じる10月、ようざん栗崎では、“運動会の季節”というテーマを取り上げて、岩鼻地区町民運動会に見学参加と、レク時間を利用し『ミニ運動会』と称して利用者様と共に競技を行いました。

岩鼻地区町民運動会は岩鼻小学校が会場で、9名の利用者様をお連れして、運動会の雰囲気を楽しんで来ました。運動会委員の方に案内して頂いた見学席は、小学校低学年の子供たちがかけっこをしている目の前の特等席で、一生懸命順位を争っている姿に「それ、頑張れ！！」とみんなで手を叩いて応援をしました。

また、利用者様が会場にいた方と気軽に会話をし、交流している姿を見て、ようざん栗崎の居場所がこの地域にあるのだなと感じ、地域の皆様に感謝の気持ちでいっぱいになりました。

レク時間を利用したミニ運動会は『STようざん栗崎第一回秋のミニ運動会』と命名し、開催致しました。その日は職員、利用者様共に各種目を夢中で楽しみました。

はじめに村田管理者から元気づく爽やかな開会の挨拶で、スタートか

ら大いに盛り上がり、玉入れ、芯通しゲーム(トイレットペーパーの芯)、借り物競争の3種目を行いました。利用者様皆さんそれぞれに“得意”とする場面、“できる”場面が多くあり、普段は目にするのではない場面に出会えました。特に借り物競争では、歩行が困難な方も職員の手をとり、軽い駆け足をさせてみたり、コミュニケーションが困難な方も引いた“くじ”と同じ物を手にとったりする姿に、その場にいるみんなが感動しました。

自分自身、初めての試みであり、準備も上手くはかどっていなかったため、当日へ近づくにつれ、「ようざん栗崎に通って頂いている利用者様に楽しんでもらえるのか」ということだけが、すごく不安でした。しかし、終わると感動して頂き泣き出す利用者様もいて、開いてみてよかったなど、思えました。又、完全に楽しいなというものを作り上げることは難しいけど、「あ！楽しそうだな！」という一歩目の雰囲気を作り出す工夫が必要だなと感じました。

まだまだ私自身及ばないところもありますが、大切にご利用者様をお世話させて頂いていることを忘れず、頑張っていきます。

これからも利用者様とそれを取り巻く皆様と共に、ようざん栗崎を大切にしていきたいです。(砂川)



# 第1回ようざん貝沢感謝祭

10月24日、ケアサポートセンターようざん貝沢、スーパーデイようざん貝沢の第一回感謝祭を開催しました。朝から空一面雲で覆われ雨を心配しましたが、最後まで雨は降らずよかったです。

模擬店は焼きまんじゅう、たこ焼き、豚汁、おでんを作りました。ボランティアの学生さんに手伝ってもらい食べていただきました。なかでも、たこ焼き、豚汁は人気がありあっという間に売り切れました。

イベントは、日頃より、施設のイベントに来て頂いている岡本ブラザー様のギター演奏から始まりました。スペインの音楽を奏で、会場が陽気で情熱的な異国の雰囲気になりました。

また、利用者様のど自慢大会も行いました。ケアサポートセンターようざん貝沢の利用者様が三度傘をかぶり、脇に刀をさしてこぶしに男心を込めて「名月赤城山」を熱唱しました。対するスーパーデイようざん貝沢の利用者様は自分の人生を重ねるように「浪花節だよ。人生は。」を熱唱しました。

新人職員による二人羽織も披露し、うまく食べられたチーム、顔が

ケーキのクリームだらけになったチームと体を張って会場を沸かせました。

ケアサポートセンターようざん貝沢の利用者様のご家族様によるフラダンスも披露して頂きました。誰もが聞いた事のある曲に南国の風を漂わす動きで会場を魅了しました。最後には会場と一体となってフラダンスを踊りました。

プログラムの最後は、全職員、会場の皆様による「上を向いて歩こう」を合唱しました。生きていれば辛い事、悲しい事、悔しい事があるでしょう。それでも、「幸せは雲の上に」、「幸せは空の上に」と信じ、どんな事があっても上を向いて前を向いて歩いて行こう！という思いで選曲し歌わせて頂きました。

本当に多くの方の助けを借りて無事に第一回感謝祭を開催する事が出来ました。ようざん貝沢がオープンして半年が経とうとしています。ここまで運営してこられたのは利用者様、ご家族様、地域の皆様のご理解、ご支援があったからです。私達の感謝の想いが少しでも皆様に届いていれば幸いです。本当にありがとうございました。(秋元)



いつもお世話になっている岡本さんには、今回特別にスパニッシュギターを披露して頂きました。



利用者様、ご来場の皆様、スタッフで手形をとり、大樹をつくりあげました。



優雅なフラダンスを披露して頂き、最後は会場全体で踊り、楽しく盛り上がりました。



利用者様にも、美声を披露して頂きました。



実行委員長の矢島君も歌いました

認知症対応型通所介護

## スーパーデイようざん貝沢



日が暮れるのが早くなり、冷たい風を体に受けると秋は確実に深まっているのだなあと日々感じます。上毛三山が競うように山肌を赤く染め、紅葉狩りを楽しめる季節になりました。また、虫の鳴き声を聞きながら秋の夜長に読書を楽しむのもよいものですね。

スーパーデイようざん貝沢では、秋の代名詞であるコスモス

やキノコの切り絵や貼り絵を利用者様と力を合わせて作りました。「すっかり秋になったねえ。」「だいぶ寒くなったんね。」とにぎやかに取り組みました。

今月の誕生日会はクレープを作ってお祝いしました。クレープにトッピングする食材を利用者様に切って頂き、「焼き過ぎだよ。」「まだ、早いよ!」と言いながらホットプレートの上の生地とにらめっこしていました。皆様それぞれが好きな食材を選びトッピングして9月の誕生日の方をお祝いしながらおいしく食べました。ホットプレートを利用者様全員で囲んでいる様子は童心に返って楽しんでいるようでした。(赤岩)



認知症対応型通所介護

## スーパーデイようざん栗崎



日中は陽射しが暑い日もありますが、朝晩はめっきりと冷え込んでまいりました。皆様におかれましては、お風邪などひかれることのないようご用心下さい。

“スーパーデイようざん栗崎”では、10月14日に『小運動会』と題して室内にて様々なゲームを得点方式で競い合い、楽しんで頂くイベントを催しました。ボウリングゲームではピンが倒れる度に「ワー!」と歓

声が上がり、小さなティッシュボックスを積み上げる場面では慎重にひとつずつ積み上げる姿に周りの利用者様から「がんばれ!がんばれ!」と声援が送られ、椅子に腰かけたまま足を広げたり閉じたりが決められた時間内に何回できるかを競うゲームでは、自分の順番が来るまでの間、一生懸命練習する利用者様もいらっしゃいました。それぞ

れのゲームを皆様真剣にご参加頂き、利用者様全員がご自身の得点を気にされているようでした。

また、暖かく穏やかな日々には、“群馬の森”へどんぐり拾いに行ったり、観音山へドライブに出かけたりと、爽やかな秋の一日を満喫されたようで、その都度、皆様お一人お一人の素敵な笑顔を拝見させて頂くことができました。

秋深まり、日ごとに寒さが厳しくなっていくと思いますが、これからは毎日楽しく過ごして頂けるように、様々な企画を提案させて頂きたいと思っております。(五十嵐)



# 第3回ようざん秋祭り

認知症対応型共同生活介護

## グループホームようざん

10/18(日曜日)晴れ PM13:30~16:00

秋風吹く肌寒い季節になってきましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

私共職員も利用者様と共に日、一日一日を楽しく一緒に過ごさせて頂いております。

利用者様も散歩などがお好きなようで、天気の良い日にはお誘いすると喜んで笑顔で同行して下さいます。

さて、本日は秋祭りで御座いましたが利用者様の日頃の行いが良いせいかお天気にも恵まれ、利用者様の皆様も来苑されたご家族の方々と一緒に一日を過ごされた事をとても喜んでおりました。

この日に向けて利用者様も歌の練習(リンゴの歌・ふるさと)を調子がズレるのにも注意しながら毎日のように頑張ってきました。

当日の歌では経済大学のACTの皆様も参加して下さい、大勢で歌が唄

えたことを私共職員もとても喜んでおります。

前日は秋祭りの当日に豚汁を作って来苑者の方々に無料でお出しするために、利用者様も職員と一緒に材料の仕込みに時間の経つのも忘れてしまうくらいに真剣に取り組んで頂き、お陰様で豚汁は来苑者の方々にも大好評で殆ど残りませんでした。

また、利用者様もヨーヨー釣りや輪投げなどを楽しまれ、ある利用者様は輪投げで6本中5本も入れてしまう勢いで、お孫さんの欲しかったプーさんのぬいぐるみを頂き、他にもバックやタオル等を頂いた利用者様もいました。

皆様とても楽しまれていました今日この日、秋祭りが無事に行えた事に職員一同喜ぶとともに、これからもご家族の方々そして利用者様が喜ばれるような行事が行えることを日々考え介護という仕事に携わっていきたくと思っています。(鈴木)



通所介護

### デイサービスようざん並榎

台風やら長雨といった天候のさだまらない日々も過ぎ、気持ちの良い秋の小春日和が続く季節になりました。デイサービスでは、ミニミニ運動会を行うにあたり万国旗とバラのアーチを作りました。色とりどりの鮮やかな万国旗がホールに彩りを添えてくれました。運動会では、日頃の成果がはつきされ、玉入れやゲートボールといったチーム戦では、皆様で協力また元気な応援の掛け声がとびかいました。借り物競争では、自分の引いたカードに合わせそれぞれ（かつら）や（メガネ）を付けてバラのアーチをくぐり、最後のパン食い競争では当日のおやつのでき得に精を出し楽しいひと時を過ごされました。

デイサービスの建物の東側にある小さな小さな畑にサツマイモの苗を植えました。利用者様が肥料を持ってきてくださったり、苗にかぶせる黒のビニールをいただいたり皆様にご協力いただき窓越しに苗を見守りました。途中、畑の土を全部入れ替えるといった、芋達には大変厳しいアクシデントもありましたが、秋の、とある晴れた日に皆さんでお芋

堀をおこないました。丸々とした大きな(?)お芋を収穫することができ・・・おいしくいただきました。

小春日和の昼下がりには群馬の森や前橋の幸の池に森林欲をかね、どんぐりや松ぼっくりをひろいに行きました。さわやかなそよ風と木々の木漏れ日の中おいしい空気をたくさん吸って来ました。収穫もバッチリです。

10月18日にようざんの秋祭りがありました。お天気にも恵まれとてもにぎあいました。歌合戦では、三人の利用者様が個々に歌や踊りを披露して頂きました。とても素晴らしく皆様からたくさんの拍手を頂きました。その上《芸打者で賞》を頂きました。お三人様どうもお疲れ様でした。(笛田)



小規模多機能型居宅介護施設

### ケアサポートセンターようざん並榎

朝、晩、すっかりと肌寒くなり、山々が赤や黄色に色づき紅葉狩りが見頃になり始めた今日この頃、皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか？

ようざん並榎では、ボランティアの学生さんと一緒に榛名へ梨狩りに出掛けて来ました。天候にも恵まれ、到着し第一声が「天気も良い、空気がおいしいね。持って帰りたいようだよ」と、大喜びでした。まずは、梨の木の下で椅子に座り園の方に用意して頂いた梨を味わいました。二十世紀という梨で昔は水々しいだけで甘みは少なかったようですが、現在では梨の種類の中で、一番水々しく甘くて美味しいらしいです。ボランティアの学生さんと職員で梨を剥いて、利用者様に召し上がって頂くと「水々しいね」「甘くて美味しいよ」「お腹一杯でも、美味し

いから何個でも食べられちゃう」「梨の木の下で食べる梨は、格別に美味しいよ。皆も食べなよ!!」と職員に勧められて下さいました。苑では見られない様な、笑顔で話される利用者様の表情がとても印象的でした。お腹一杯味わい園の方に梨の取り方を教えて頂き、いよいよ梨狩りです。梨の木は低く頭上と足元に注意しながら、御家族へのお土産用に2個づつ梨狩りを楽しみました。「梨は、こんなに簡単にもげるんだね」と、普段体験出来ない経験が出来ました。また、ボランティアの学生さんにも協力して頂いて、とても楽しい思い出が出来ました。これからも季節を感じ楽しい外出行事を取り入れ、皆様に喜んで頂ける職員一同努力して行きたいと思えます。(須藤)



初めてのお祭りで、スタッフ一丸となって企画しました。来年は今年以上に盛り上げられるよう頑張ります！！

小規模多機能型居宅介護施設

### ケアサポートセンターようざん貝沢

おい雲よ

ゆうゆうと

馬鹿にのんきそうじゃないか

どこまでゆくんだ

ずっと磐城平(いわきたいら)の方までゆくんか

空を見上げれば山村暮鳥「雲」(大正14)の詩が似合う季節、秋の訪れを探しに近所を散策です。細い路地を歩くと、民家の垣根から漂うキンモクセイの香りを楽しみ、ある庭先から顔を出す柿の木を眺め「もう少し」「いやきつとシブ柿だ」「おいしそう」云々、その先にはアケビの実が大きく口を開いて私たちを招きます。「どうぞ、お好きなだけ持って行って」ご婦人は植木に水をやりながら優しく言われました。小さな秋、小さな楽しみを身体全体で感じるのも散歩の楽しみの一つです。

向かう先は「いつもの場所」と名付けられている、お寺の一角に腰かけ

ひと休憩。頭上には大きな櫟の葉がそよ風に答えるようにサラサラと囁き合います。ある利用者様が「葉っぱがおしゃべりしているみたい」と話されました。そこには詩人金子みすずの世界のような素敵な時間が存在しています。

近所の公園に足を延ばすと、顔なじみ(?)で仲良しになった子供たちがサッカーや野球を中断して、私たちが休憩している東屋に集まり「ミニ交流会」が開かれます。その先さらに足を向ければ高校があり、校庭からは吹奏楽の練習や運動部員の賑やかな声が聞こえてきます。聞けば二年に一度の文化祭があるとのこと。さっそく日曜日、文化祭を訪れ学生達の活気ある雰囲気を楽しみました。

このように「ようざん貝沢」は今年5月開所して地域にお世話になり半年を迎えようとしております。これらは利用者様をはじめ、ご家族、ボランティアの方々、地域の方々のご支援であり、その感謝の気持ちをなにか形に出来ないかと考え10月24日に「感謝祭」と称して開催させていただきました。(高尾)



認知症対応型通所介護

## スーパーデイようざん飯塚



秋の長雨と言われ、曇りや雨の日が続きますが、ようざん飯塚では皆様体調を崩すことなく、毎日お元気に利用して下さり嬉しい限りです。

さて、ようざん飯塚では『秋の味覚』をテーマに初めての梨狩りへ

出掛けました。数日前から皆様とても外出を楽しみにして下さり、当日はお天気にも恵まれ、絶好の外出日和となりました。榛名の中里見町にある吉田果樹園様で梨狩りをさせていただきました。園に到着し、木になっている新鮮な梨を見て『大きいね～！』と利用者様はびっくりされていました。園の方に説明をして頂き、試食で豊水・新高などの品種の梨をその場で剥いて頂き、甘くて美味しい梨を思う存分召し上がり

れ、利用者様の嬉しそうな笑顔を沢山見ることが出来ました。

『また来たい』『今度は家族を連れてくる』などの声も頂けて、外出の良さを改めて実感しました。私たちスタッフも喜ばれている利用者様の様子を見て、『また楽しい思い出が一つ増えた』と、一緒に喜びや楽しさを共有することが出来、とても嬉しく感じました。

これからも季節にあった行事を計画し、利用者様に喜んで頂けるよう工夫して行きたいと考えております。

(岩崎)



## 居宅介護支援事業所ようざん～認知症の話 その4～

認知症というと一つの病名のような印象がありますが、実は様々な病気が認知症を引き起こします。今回は、その主なものの特徴と対処法についてお伝えします。

	特徴	対処法、ケアの注意点
アルツハイマー型認知症	物忘れが段階的に進行し、症状が進むと瞬間的な記憶しか保てなくなる。一方過去の記憶は比較的保たれるので現在と過去を混同するようになる。やがて立つ事や、座っていることができなくなり、寝たきりになる。発症から8～10年で死にいたる進行性の難病。	失敗や出来ない事に目をつむり、とにかく「ヨイショ」する事が基本姿勢。「なぜできない!」「なぜわからない!」と指摘すると精神的な不安を助長してしまい逆効果。否定や説得が度重なると、孤立していただちが募り精神的な異常や行動の異常を引き起こしがちです。本人の意に沿うように介護者が動く事が症状の安定につながります。
脳血管性認知症	脳梗塞、脳出血、くも膜下出血の後遺症と考えると理解しやすい。知的機能の低下は、脳の正常な機能も残っているので出来る所と出来ないところがはっきりしていて「まだら状態」になるのが特徴的。	残された機能がかかなりあり、初期であれば治療とリハビリを組み合わせ進行を遅らせたり、血流を良くすることにより回復も望める。初期に見られる感情失禁(泣きっぱい)やうつ症状には少量の抗うつ薬などを使用することもあります。
レビー小体型認知症	パーキンソン病に見られるレビー小体が大脳皮質に多く見られる。目の前に実際にモノがあるようなありありとした幻視(視覚に起こる幻覚)や妄想などの精神症状があるのが特徴で、やがて物忘れやパーキンソン病のような歩行不安定や、転びやすいなどの運動障害が現れる。	幻覚や妄想であっても話をよく聞いて共鳴する事が大事。でも家族は幻覚のすべてに付き合うのは無理な話なので、話を聞いてあげたら、やんわりとした否定の仕方を工夫されることがいいのではないのでしょうか。あまり症状が激しい場合には抗精神薬や抗パーキンソン薬を医師とよく相談しながら使用する事も必要となります。
前頭側頭型認知症	比較的若い50～60代が発症のピークで前頭葉から側頭葉にかけて集中して脳の萎縮が進行していきます。性格変化、抑制のきかない行動、社会のルールや常識を無視した行動が目立ち、言葉の理解が著しく障害されるケースもありコミュニケーションが取りにくいことも特徴です。	治療の手段がなく、対処法により症状の安定を図ることが重要です。周囲のちょっとした事にも影響を受けやすく、自分本位の行動が多いため集団の中でのケアは難しい。基本的にはマンツーマンの対応が望ましく、激しい行動を投薬によりコントロールする必要も生じてきます。

以上の4項目は認知症の代表的な原因となる病気の特徴と介護のポイントを大まかにあげました。特徴が違うという事はおのずと対処する方法も違ってきます。介護する側は認知症の様々な知識を吸収し、それを踏まえて介護に当たる事により、本人の安定と、介護者自身の負担の軽減につながっていくと思います。

# 21年11月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3 理美容日 (上並榎)	4 高崎イオン外出 (飯塚) 理美容日 (栗崎)	5 ふれあいバラエ ティ(上並榎) 南京玉すだれ (栗崎)	6	7
8	9 群馬の森外出 (飯塚)	10 むつみ会 (栗崎) 理美容日 (飯塚)	11 理美容日 (飯塚・貝沢)	12 南京玉すだれ (上並榎)	13 ギター演奏 (上並榎) なかよしクラブ (貝沢) 日本絹の里外 出(飯塚)	14 ふれあいバラエ ティ(貝沢) 沖田マジック (上並榎)
15	16 お茶会(飯塚)	17 ギター演奏 (栗崎) 理美容日 (栗崎)	18 理美容日(上並 榎)	19 お好み焼き作り (飯塚)	20 むつみ会 (上並榎) ふれあいバラエ ティー(上並榎)	21
22 松扇会 (栗崎)	23	24 エレクーン演 奏(上並榎) むつみ会(飯塚)	25 フラダンス (栗崎)	26 理美容日 (貝沢)	27 ギター演奏 (貝沢)	28
29	30					

**YouzanTube** 動画配信はじめました

ようざんでは、開かれた介護事業所をめざして、このようざん通信やホームページを通じて積極定期に情報公開していますが、動画の配信を始めました。ボランティアさんによるイベントの様子や事例発表会の様子や研修の様子等々掲載していますのでご覧下さい。動画は、ようざんのホームページからリンクしています。

<http://www.youtube.com/user/youzantube>

## ホームページのお知らせ

当施設の案内やレクリエーション活動の状況を定期的に更新しお知らせしております。また、施設のブログや施設長のブログも公開しておりますのでご覧下さい。ブログは携帯電話でもご覧頂けます。

ようざんホームページ

<http://youzan.jp> (PCのみ)

ケアサポートセンターようざん

検索

ホームページではようざん通信のバックナンバーをダウンロードできます。

ようざんブログ

<http://youzan.gunmablog.net/>

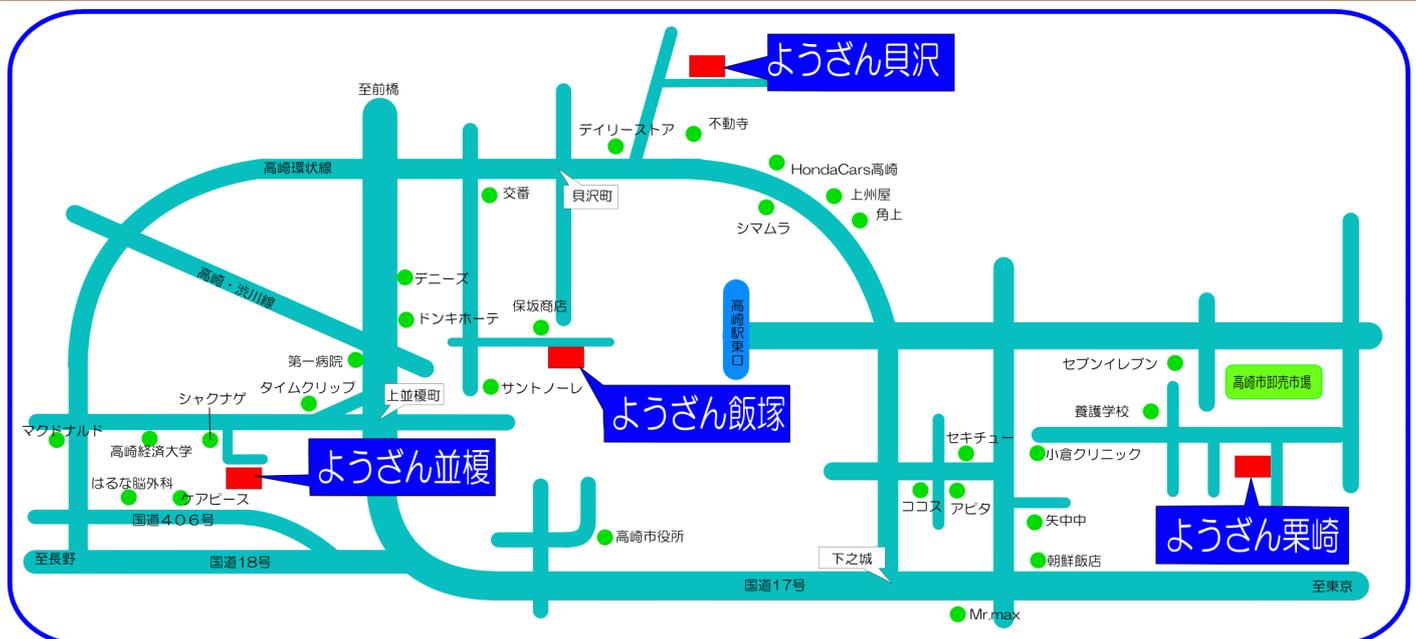
施設長ブログ

<http://youzan2.gunmablog.net/>



## ようざん施設案内

事業所名	提供サービス	所在地
ケアサポートセンター ようざん	小規模多機能型居宅介護	群馬県高崎市上並榎町1180 電話 027(362)0300
ケアサポートセンター ようざん並榎	小規模多機能型居宅介護	
スーパーデイ ようざん	認知症対応型通所介護	
グループホーム ようざん	認知症対応型共同生活介護	
デイサービス ようざん並榎	通所介護	
居宅介護支援事業所 ようざん	居宅介護支援	
スーパーデイ ようざん飯塚	認知症対応型通所介護	群馬県高崎市飯塚町1311-6 電話 027(370)4355
ケアサポートセンター ようざん栗崎	小規模多機能型居宅介護	群馬県高崎市栗崎町141-1 電話 027(353)4393
スーパーデイ ようざん栗崎	認知症対応型通所介護	
11月1日 オープン	ショートステイ ようざん	短期入所生活介護 電話 027(386)8643
ケアサポートセンター ようざん貝沢	小規模多機能型居宅介護	群馬県高崎市貝沢町1492-1 電話 027(386)5043
スーパーデイ ようざん貝沢	認知症対応型通所介護	



主権在客

(株) プランドウ